

# 「第15回 JICE研究開発助成 成果報告会」の報告



藤村 万里子

情報・企画部  
上席主任研究員

JICEでは、住宅・社会資本整備に係わる先進的な研究・技術開発に対して助成を行い、より良い国土の利用・整備又は保全に寄与することを目的として、研究開発を支援する助成制度を平成11年度より実施しており、平成26年度までの16年間で延べ209件の研究に対し助成を行っている。

その研究成果を社会へ還元する方策の一つとして、研究開発助成の成果報告会を開催しており、今年度で第15回目を迎えたところである。本成果報告会については、土木学会認定の継続教育（CPD）プログラムの認定を受け、公開にて実施している。第15回成果報告会は、平成27年6月4日（木）にJICE会議室において開催し、外部から50名を超える参加があった。

今回は平成25年度に採択され、平成26年度に実施した研究成果（16研究）が報告され、会場からは活発な質疑が

あり、新たな技術への関心が寄せられた。

これらの研究の成果概要、発表資料についてはJICEホームページの研究開発助成事業にて掲載しているので、あわせてご覧頂きたい。



表 成果報告された研究課題一覧（発表順：敬称略）

	研究課題名	研究者名（代理発表者名）
1	「都市ドック」制導入による人口減少社会での都市空間再生に関する研究	筑波大学 システム情報系社会工学科 教授 谷口 守
2	構造物損傷診断のためのRFIDセンサネットワークに関する研究	東京大学大学院 工学系研究科 助教 白岩 隆行
3	長期記憶性を有するインフラモニタリングデータの統計分析手法	大阪大学大学院工学研究科 准教授 貝戸 清之 (代理発表：北浦直樹)
4	中小建設業の維持に配慮した建設生産システムのあり方に関する研究	日本大学生産工学部土木工学科 教授 木下 誠也
5	道路の計画・設計のための走行サービスに関する実態分析	東京理科大学理工学部 土木工学科 助教 葛西 誠
6	中山間地域の狭隘区間道路における走行特性に関する研究	岐阜大学工学部 社会基盤工学科 教授 倉内 文孝
7	復旧期間を考慮した橋梁と盛土の地震時安全性の整合化に関する研究	東北大学大学院工学研究科 助教 松崎 裕
8	社会資本整備評価のためのSCGEモデルにおける地域間交易モデルの理論的・実証的検証	神戸大学大学院工学研究科 教授 小池 淳司 (代理発表：佐藤啓輔)

	研究課題名	研究者名（代理発表者名）
9	スマートフォンを用いた洪水流量観測システムに関する研究	広島大学大学院工学研究科 助教 橋 涼太
10	土石流危険渓流の長期リスク算定と地域社会がもつ災害ポテンシャルの変遷に関する研究	山口大学大学院理工学研究科 准教授 鈴木 素之
11	地形・地質情報の利用による地震・豪雨時の土砂流動予測に関する研究	名古屋大学大学院工学研究科 (現 防衛大学システム工学群 建設環境工学科) 助教 野々山 栄人
12	古地図・古書による歴史的洪水災害の数値解析に関する研究	京都大学防災研究所 所長・教授 寶 馨 (代理発表：羅小平)
13	洪水氾濫解析のための縮約モデルの開発	京都大学大学院工学研究科 准教授 市川 温
14	地震/津波/洪水による災害リスクの統合評価とGIS-V Rによるリスクの可視化に関する研究	東京都市大学工学部 都市工学科 教授 吉川 弘道
15	水災害リスク分析の最大外力設定のための可能最大降水量(PMP)の推定	鳥取大学大学院工学研究科 准教授 矢島 啓
16	街路空間構成要素の色彩構成に着目した都市景観整序手法	埼玉大学大学院理工学研究科 教授 窪田 陽一 (代理発表：深堀清隆)